

主な内容	
9月定例会のあらまし	1
一般質問議員と項目	1
一般質問と答弁	2
主な質疑	3
平成21年度決算審査	3
研修報告	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

2010 No.19

議会だより

発行
那須烏山市議会

編集
議会広報委員会

事務局
☎0287-88-7114



烏山幼稚園 最後の運動会 (10月2日 烏山幼稚園)

9月定例会が7日(火)に招集され、22日(水)までの16日間の会期で行われました。提出された議案はすべて原案のとおり可決されました。可決された主な議案は次のとおりです。

※なお議決された議案の内容など、くわしくは「広報那須烏山第61号」(10月8日発行)をご覧ください。

- ・平成22年度一般会計補正予算(第2号)
- ・平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ・平成22年度老人保健特別会計補正予算(第1号)
- ・平成22年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ・平成22年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成22年度水道事業会計補正予算(第2号)
- ・手数料条例の一部改正
- ・やまびこの湯設置、管理及び使用料条例の廃止
- ・烏山中学校校舎改修工事(機械設備) 請負契約の締結
- ・決算の認定
- ・水道事業決算の認定

一般質問者と質問項目



平塚 英教 議員

- 1 本市の農業政策について
- 2 広域消防について
- 3 テレビ地上デジタル化に伴う対策について
- 4 高齢者対策について
- 5 JRバス烏山(小川)馬頭線の存続について
- 6 山あげ祭について



板橋 邦夫 議員

- 1 道の駅の設置について
- 2 市営住宅について
- 3 広報那須烏山の配付について



中山 五男 議員

- 1 防災対策について
- 2 本市農政のあり方について
- 3 学校教育について



渋井 由放 議員

ホームページについて

- 1 行財政改革について
- 2 バランスシートについて
- 3 廃校の再利用について



樋山隆四郎 議員



川俣 純子 議員

- 1 山あげ祭・いかんべ祭・タウンイルミネーションに対するバックアップについて
- 2 少子化対策について



田島 信一 議員

- 1 通学路の安全対策について
- 2 JRバス廃止(予定)について
- 3 七合小学校体育館建設について
- 4 高齢者時代の地区の役割について



沼田 邦彦 議員

- 1 限界集落について問う
- 2 図書館の運営・利用状況について問う



※赤字になってる項目は、本紙2ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

意見書提出

9月定例会において、国会と関係行政庁へ次の意見書を提出することを決めました。

社会保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書
(陳情書の採択に伴う意見書)

平成22年9月定例会

一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
詳しくは議会事務局(TEL0287-88-7114)までおたずねください。

広域消防について

平塚 英教議員

(問) 広域消防を2分署化に向けて進めているが用地確保、建設費用負担について説明を。

◎市長 広域消防、本部を那須烏山消防署、訓練棟を那珂川消防署に置くことで2署体制化に向けて進めている。用地は構成市町が選定し、用地取得と庁舎建設は広域行政が事業主体で進める。総事業費11億2千万円の内、9億4千万円が合併特例債対象。本部及び訓練棟の負担は市60%町40%の割合。年内には用地確定し、平成23年度に用地整備、24年度に本工工事着工、完成を目指す。

(問) 国指定重要無形民俗文化財「山あげ祭」を今後とも安定して実施できるように「山あげ祭ボランティア人材バンク」の創設等行政もできる限りの支援を。

◎市長 山あげ祭を実施する若衆不足は深刻な問題。ご提案の山あげ祭ボランティア人材人材バンクの創立、山あげ祭保存会や実行委員会等々関係団体と協議検討する。

イア人材バンクの創立、山あげ祭保存会や実行委員会等々関係団体と協議検討する。

道の駅の設置について

板橋 邦夫議員

(問) 近年観光やレジャーを求めた長距離ドライバーが増え、より安全で快適な道路交通環境が求められている。このような状況を背景として休憩機能を備えた道の駅を設置し、情報発信や都市と農村の交流を図るべきと思うが市長の考えを伺う。

◎市長 本市においては現在各課横断的な庁内プロジェクトチームを設置し、構想的の策定を進めている段階である。具体的には文献資料などによる先進地における道の駅の在り方や機能、施設別分析を終了したところである。

この事業は国、県の交付金を確保しなければ出来ない事業であるので要望活動を進めながら関係機関と連携調整を図り、できるだけ早い時期に本市特有の独自の魅力ある道の駅を設置して参る所存である。

学校教育について

中山 五男議員

(問) 本県内小中学生の不登校率が、千人あたり13.9人でワースト2位の不名誉な結果に陥っている。本市内の実情と解決に向けた指導方針を伺いたい。

◎教育長 本市の不登校児童生徒数は平成20年度47名、21年度39名本年度は6月現在20名で減少傾向にある。解決策として家庭訪問、保護者の相談等のほか、学校長と連携を密にして最大限の努力を傾けている。

(問) 本県内の非行少年が増加し低年化している。教育長は市内小中学校長に対し、いかなる指示をされ、それが保護者や児童生徒にまで徹底しているか。

◎教育長 各学校では道徳や特別活動などの教育活動を通じ、規範意識の高揚を図り、問題行動を未然に防ぐよう、積極的な生徒指導に取り組んでいる。

これらの指導が功を奏し今年度は大きな事故もなく、子供達は学校生活を楽しんでいっている。

ホームページについて

渋井 由放議員

(問) 800万円弱で作ったホームページ、一面のイベント情報に、私が指摘するまで山あげ祭等の情報が掲載されてなく、統計情報は古い。また、課のコンテンツにリンク切れがある。なぜこのような事が起きてしまったのか。また、公共施設予約が図書館のようにインターネットで出来ないのかについて伺う。

◎市長 運用については、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びを申し上げます。また、公共施設のオンラインによる予約は、運用

可能な施設から年度内には稼働させて行きたいと考えている。

(問) 根本的に緩みたるみがあると考えられないか。

◎市長 弁解はしない。反省をして、自己研鑽に励むよう指導していく。

(問) プランを立て、実行したがチェックをしていないというのでは無いのか。

◎市長 チェックが出来なかったところに大きな問題があると認識している。早急に改善する方向で進める。



市のホームページのトップページ

行政改革について

樋山隆四郎議員

(問) 合併特例債が終了する平成27年度以降の市の財政運営について伺う。

◎市長 現在の予算規模は、一般会計で約130億円であるが、合併特例債が終了する平成27年度以降、現在の予算規模を維持すると、年間15億円の財源不足に陥る。また、現在のよう

な社会情勢が続いた場合、人口減少や企業等の撤退による課税客体の減少等により自主財源も減少し、ますます依存財源に頼らざるを得ない。そうなれば財政規模を縮小し、100億円以内に収めなければならぬ。私は、今後大変な事態が生じると危機意識を感じており、平成27年度以降も含めた市の財政シミュレーションを作成し、より綿密な計画を策定していく。

のかが伺う。

◎商工観光課長 テレビでの放送は非常に観光PRに有効な手段なので、宮祭りが放送された経緯を調べ、実況放送が可能であるか協議していく。

山あげ祭・いかなべ祭・タウンイルミネーションに対するバックアップについて

川俣 純子議員

(問) 今年の山あげ祭で世界に発信と聞いたが、その組織は何か、その内容また、進んでいるのなら、現在の進行状況を伺いたい。

◎市長 世界遺産とは異なる無形の文化遺産を保護する国際連合教育科学文化機関いわゆるユネスコの無形文化遺産代表一覧表に山あげ祭を記載されることを目指すことにしている。しかしながら、第2回のユネスコ無形文化遺産の審査が遅れているため、代表一覧表への記載が遅れている。市としては、大変名誉なことなので万全を期したい。

(問) ユネスコへの登録を進め、世界への発信もいいが、栃木テレビで山あげ祭を最初から最後の片づける所までの生中継はできない

のか伺う。

のかが伺う。



山あげ祭の芸題「将門」に登場する蝦蟇(がま)

七合小学校体育館建設について

田島 信二議員

(問) 七合小学校体育館建設の有無について伺う。

◎市長 学校施設は児童生徒等にとって一日の大半を過ごす学習の場であること、非常災害時に避難場所となるなど地域の防災拠点として重要な役割を担っており、その安全性の確保は極めて重要と認識している。昭和48年に建設、床面積567平方メートル築後37年が経過しており老朽化も進んでいる。耐震指数は0.34となっており耐震性能が不足している。面積が狭く、学校開放施設としても十分な施設とはいえない状況にあると認識してい

る。昨年度から市内学校施設耐震化計画を策定、計画的に整備を進めることにしている。当該計画に準拠し、改築を視野に入れた整備を前向きに検討。具体的内容は、国の動向、県教育委員会との事前協議を踏まえ時期、規模、場所等を決定する。

限界集落について

沼田 邦彦議員

(問) 県当局では、2040年には約2割程度の40万人弱の人口減少を見込んでいっている。現在本市の人口は20歳以上が2万5千人、20歳未満が5千人。この危機的状況の中、限界集落の進行状況は。

◎市長 限界集落の愛宕台、南二丁目、向田、宮原、小原沢、横枕、大木須、滝田、白久、曲田、熊田となっている。

(問) 人口減少に歯止めをかける施策、若者の人口増につなげる施策として、合併特例債を充てた目玉事業が必要だと思いが市長の構想はあるのか。

◎市長 福祉、教育、医療を充実させながら、多機能型の高齢者介護施設を考えている。

(問) 責任のない善良な市民に対し、限界集落という差別用語に近いその用語を使うべきではないと思うが。

◎市長 当市ではその言葉を使わずに独自の施策を打っていききたい。

主な質疑

9月定例会に上程された議案の審議の中で、議員の質疑の中から主なものを要約して掲載しています。

平成22年度 一般会計補正予算

議員 介護施設準備経費助成事業費3,420万円の内容は。

健康福祉課長 上境地内に建設中の地域密着型の特別養護老人ホームと、滝田地内に建設予定である認知症グループホームについて1床あたり60万円助成するもので、全額県の補助となっている。

議員 非常備消防費に関して、女性消防隊の現在の隊員数は何名か。また、今後は隊員数を何名にする予定か。

総務課長 現在隊員数は15名であり、隊員数20名を目標としている。



操法訓練を行う女性消防隊員

議員 財産収入に不動産売却約787万円が計上されているが、どの不動産を売却したものか。

生涯学習課長 烏山運動公園の道路と国道294号に面した法面が栃木県起業の道路整備事業地に該当するため、土地403.79㎡を売り払ったものである。

議員 森林整備地域活動支援交付金事業565万7千円の内容は。

農政課長 森林法に基づく地域民有林の被害調査費用である。市が那須南森林組合と県の森林整備公社に業務委託し、それぞれ約600haの森林調査を行うものである。

議員 ふるさと応援給付金(ふるさと納税)のこれまでの実績は。ふるさと応援給付金について、意識を高めるPR・取り組みを願いたい。

総合政策課長 平成20年度が9件で89万円、平成21年度が7件で85万円、平成22年度については、現時点で5件18万円である。市のホームページをはじめ、様々な機会ですらと納税についてPRを強めたい。

平成21年度 決算関係

議員 市の臨時職員の人数は何名いるのか。

総務課長 本年4月1日現在で117名の臨時職員を採用している。対前年比では、緊急雇用対策で若干増加傾向にあるが、ほぼ前年と同じ数値で推移している。

議員 空き家等バンクに登録されている現在の空き家の件数は。

総合政策課長 現在の登録件数は6戸である。

議員 上下道の有収率が低く迷っているが、その対策について伺う。

上下水道課長 有収率は対前年比5%以上落ち込んでいる。漏水対策として、今後、調査方法を検討し、有収率向上に努めたい。

議員 平成21年度における各種市税の不能欠損された件数は。

議員 ゴルフ場利用税は県税であるが、その70%が交付金として市の財源となる。ゴルフ場利用客を増やす取り組みも必要か

と考えるが。
商工観光課長 市内のゴルフ場とタイアップしながら、市のホームページへの掲載についても前向きに検討する。

議員 行財政改革提言委員制度は、平成21年度をもって廃止したのか。

総合政策課長 行財政改革提言委員制度は平成18年度に設置し、平成21年度の5月末をもって廃止とした。その間、全体で44件の提言があった。

議員 いのしし駆除対策で電気防護柵設置費用を補助した面積といのしし捕獲頭数はどれくらいだったのか。

農政課長 補助した電気防護柵の面積は約7,000㎡で、捕獲頭数は、119頭であった。



いのしし被害から田を守る電気防護柵

平成21年度 決算審査

平成21年度一般会計、8特別会計、水道事業会計の当初予算については、各常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。ここでは、各常任委員会での審査中に出席された意見を要約し、市執行部へ要望した内容を掲載します。

総務企画常任委員会

- ◎所管する課等
総合政策課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会
- ◎審査事項
所管する課等の一般会計の歳入歳出

文教福祉常任委員会

- ◎所管する課等
市民課、健康福祉課、こども課及び教育委員会(学校教育課及び生涯学習課)
- ◎審査事項
所管する部局の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算

経済建設常任委員会

- ◎所管する課等
農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会
- ◎審査事項
所管する部局の一般会計、特別会計及び企業会計の歳入歳出決算

- ◎長期財政シミュレーションを早期に策定し、自主財源の確保に取り組みつつ、実効ある行財政改革を断行し、安定的な財政運営に努めていただきたい。
- ◎市有財産については、積極的な整理統合を図り、処分による有効活用を確実に執行していただきたい。
- ◎市税等については、収納体制の抜本的な見直しを図り、収納事務に専門的に従事し、迅速に対応できる体制を確立し、収納率の向上に努めていただきたい。

- ◎市財政の健全な運営のため、国民健康保険税及び保育料の収納率の向上に努められたい。
- ◎認知症患者及び発達障がい児が増加傾向にあることから、早期発見及び最善の処置が施せられるよう、施策の充実に努められたい。
- ◎「なすから あゆみネット」は、保護者が普段見ることができない学校での日常の様子を情報発信されている。「なすから あゆみネット」をより活用し、学校、保護者及び地域とのよりよい連携を構築されたい。

- ◎環境保全については、市内小河川の水質検査結果等を市民に周知し、理解を深めるとともに、実効ある水質保全事業を推進されたい。
- ◎市営住宅については、増加していく住宅使用料の未納対策と市営住宅整備計画の作成を速やかに実施されたい。
- ◎下水道事業特別会計については、年度ごとに加入件数の目標を定め、加入率の向上に努められたい。また、旧両町間の受益者負担金の統一や全体計画の見直しを検討されたい。
- ◎水道事業会計については、速やかに漏水の原因を調査し、有収率の向上と未収金の回収に努められたい。

研修報告

文教福祉常任委員会



意見交換会の様子

過しています。これまでの間も、施設の改善、改善を要望していましたが、財政難であったため、要望に沿えなかった経緯があります。平成23年度までに障がい者自立支援法に基づく就労移行施設として県の認可を受けるためには、施設の整備が必要となることから、本委員会では、通所者と保護者の意見を反映できるよう、市の平成23年度予算策定の前に意見交換会を行うこととしました。

文教福祉常任委員会では、8月31日(火)に市内の障がい者福祉作業所である「あすなろ作業所」に通所している通所者の保護者と、議員控室において意見交換会を実施しました。その概要を報告いたします。

「あすなろ作業所」は、昭和41年に当時の「母子センター」として設置された建物を「母子センター」廃止後、昭和61年に社会福祉協議会が障がい者福祉作業所として開設し、44年もの期間が経

研修報告

経済建設常任委員会

経済建設常任委員会では、9月15日(水)に主要地方道宇都宮烏山線高瀬トンネル(仮称)工事現場の視察を行いました。当日は、烏山土木事務所から堀江次長と竹沢部長そして戸田・桜岡・松本特定建設工事共同企業体の担当者から説明を受けトンネル内を視察しました。総延長430mの約半分の190mまで掘削が進んでいて翌年9月までに掘削が終わる予定とのことでした。また、地質は軟弱で礫混じり粘土



高瀬トンネル工区の高瀬側入口にて

質砂のため工法もNATMという針ネズミのように鉄筋(6m)を坑内に差し込みコンクリートを吹付ける工法を用いていました。トンネル内は思ったよりも勾配がなく平らな感じを受けました。また、直線のトンネルではなく、ゆるやかなカーブになっていて比較的走りやすいと思われました。歩道は、幅員3mで片側のみとなっていています。掘削した残土は、那珂川町に運搬中であり、これから約3万㎡の残土が出てくることと見えています。工事価格は、26億8千8百万円で平成24年9月28日完成予定であり、工事関係者20名が高瀬の宿舎に住んでいるとのことと見えています。大きな工事なので地元の下請け25社を使っている説明を受けました。平成24年9月の完成に向け工事関係者の安全を願っています。

事業延長 1,860m
トンネル部延長 430m
車道 6・5m
歩道 3・0m
工事価格26億8千8百万円
完成予定平成24年9月28日

委員 渡辺 健寿
委員 高徳 正治

12月定例議会は、11月30日(火)開会予定です。

※正式な日程は、11月24日に開催される議会運営委員会で決定されます。

9月議会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
9月7日(火)	開会・上程・採決・付託	13人
9月8日(水)	一般質問	15人
9月10日(金)	一般質問	17人
9月13日(月)	一般質問・決算総括質疑	18人
9月22日(木)	報告・採決・閉会	4人
	計	67人

議会を傍聴してみませんか



議会を傍聴することは、市政を知る最も良い方法です。くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。

議会の動き

平成22年7月

- 19日 議会だより 第18号発行
- 24日 烏山線利用向上 対策特別委員会 「山あげ祭」お出迎え
- 29日 議会運営委員会
- 31日 文教福祉常任委員会意見交換会 議会運営委員会 議員全員協議会



- 7日 第6回定例会 (22日まで)
- 8日 議員全員協議会
- 10日 議会運営委員会 各常任委員会 (15日まで)
- 16日 議員全員協議会 行財政改革特別委員会
- 22日 議会広報委員会
- 10月
- 14日 議会広報委員会
- 21日 議会広報委員会
- 28日 第7回臨時会

あとながき

平成22年第6回9月通常議会が開催され、議員の一般質問をはじめ各種議案、そして平成21年度一般会計・特別会計決算が審査されました。

これは議会でも可決した予算が効率よく、目的に沿って執行されたかを審査をすることでありました。

また、各地で敬老会が開催され、滝田議長あてに招待状が届いたところにつきましては、滝田議長をはじめ議長代理として平山副議長、各議員が出席し、お祝いの言葉を述べさせていただきました。いずれの会場でも、各自治会や施設の皆様がたのしみ趣向を凝らした取り組みに、多くの皆様が楽しんで参加いただいている事に敬意を表すると共に、今後も健やかに過すことができますように願うものであります。

議会は、大谷市長以下執行部へのチェック機能を果たすと同時に、執行部と協力して那須烏山市発展のために活動することでもあります。その活動をこの議会だよりで直接市民の皆様へ伝えていきますので今後とも議会活動にご注目くださいますようお願い申し上げます。(洪井由放 記)